

授業科目名 (英文名)	経済データ解析特論	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	井上寛康	所属	シミュレーション学研究所
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	従来の社会科学は複雑性を避けて発展してきたが、現代においてはそのようなアプローチでは解明できない現象があまりに多いことが認識されつつある。複雑性を排さず課題を検討するためには、なによりも大規模なデータが必要となる。そこで本研究では大規模なデータによって社会科学的課題に取り組んだ個別の研究を論文をベースに議論する。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容は以下とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. サプライチェーンデータ：サプライチェーンを介した知識の波及 3. サプライチェーンデータ：エージェントベースモデルBakのモデル 4. サプライチェーンデータ：エージェントベースモデルARIO 5. サプライチェーンデータ：エージェントベースモデルAcclimate 6. サプライチェーンデータ：エージェントベースモデルによる災害の評価 7. サプライチェーンデータ：サプライチェーンの制御可能性 8. 特許データ：共同研究活動の集積性 9. 特許データ：共同研究活動の質 10. 特許データ：研究活動に政策が与える影響 11. 特許データ：研究活動にインフラが与える影響 12. 特許データ：国際的ネットワークと研究活動の質 13. 特許データ：共同研究活動ネットワークと生成モデル 14. 特許データ：研究が繰り返される影響 15. 特許データ：発明者と研究拠点の多重ネットワーク 		
テキスト			
参考文献	Y. Todo, P. Matous, H. Inoue, "The strength of long ties and the weakness of strong ties: Knowledge diffusion through supply chain networks", Research Policy, Vol. 45, No. 9, pp. 1890-1906, 2016.ほか適宜紹介する。		
成績評価の基準・方法	議論内容に基づき、評価が60点以上のものを合格とする。		
履修上の注意・履修要件	当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を実施する方法とする場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境（PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境）が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しません。		
備考			